

被災者対応住宅支援及び定住促進策等の進捗状況について



1 平成28年熊本地震被災者の市営住宅入居開始

4月14日に発生した熊本地震で住宅に被害を受けた方々に対する支援策として、4月20日から市営住宅等の提供を開始したところ、熊本市の自宅が被災し、藤岡地域で暮らす娘夫婦の家へ避難してきた夫婦から、市営住宅へ入居したいとの申込みがあったため、直ちに2名の入居を許可しました。

当初は、被災者向けに用意した特定公共賃貸住宅「スカイハイツ川原田」に入居する予定でしたが、熊本に戻らず本市に永住したいとの申し出があったことから、現在、城内町の市営住宅に入居して頂く準備を進めております。

お二人は、被災後の車内生活や食糧不足等で体調を崩され、本市に避難した当時はエコノミークラス症候群等の症状も見受けられましたが、現在、市内の医療機関で治療を受けておりますので、本市で平穏な生活を送ることにより健康を回復して頂けるよう、支援を行ってまいります。

なお、市民の方から、被災者に対して借家2棟（3DK、駐車場有）を敷金礼金なし、家賃（通常3.5～4万円）半額程度で提供したいとの申し出も頂いております。

市では、引き続き市営住宅の提供を始めとする被災者支援に努めてまいりますので、詳しくは市のホームページをご覧ください。

2 宿泊体験施設への入居者決定

入舟町の宿泊体験施設「移住お試しの家」の入居者募集について、3月定例記者会見で発表したところ直ぐに申込みがあり、5月16日から入居が開始します。

市では、引き続き入居者を募集しておりますので、詳しくは「栃木市移住お試しの家」専用ホームページをご覧ください。

3 空き家バンク（あったか住まいるバンク）登録物件の募集

平成26年1月に開始した「あったか住まいるバンク」の利用者が増加し、平成27年度は登録物件数・成約件数ともに県内14市中最高となりましたが、空き家を買いたい・借りたいという希望者が急増し、空き家の供給が追い付かない状況となっています。

家は使わずに放置すると傷みが進行しやすいので、利用可能な空き家をお持ちの方は、市の「あったか住まいるバンク」へ、登録をお願いします。

4 定住促進バスツアーの実施

5月28日（土）に、主に埼玉県の方々を対象とした定住促進ツアーを実施します。

埼玉県内や都内へ通勤している東武線沿線の方々に、移住先として本市の魅力を体感してもらうことを目的として、越谷駅周辺のアパート等にツアー参加者募集記事を掲載したフリーペーパーを配布して参加者を募集したところ、定員40名に対し、既に約3倍もの申込みを頂いております。

予想以上の反響があったことから、今後もツアーの開催を計画するとともに、定住促進策を推進してまいります。

【問合せ先】 栃木市都市整備部 住宅課 担当大野、成松 TEL 0282-21-2451